

## 第 19 回日本小児・思春期糖尿病研究会年次学術集会の終了報告

第 19 回年次学術集会 会長 浦上 達彦  
(駿河台日本大学病院小児科)

第 19 回日本小児・思春期糖尿病研究会年次学術集会は、お陰様をもちまして 244 名もの多数のご参加をいただき、盛会のうちに終了いたしました。

参加者 244 名の内訳は、小児科医 134 名 (54.9%)、内科医 59 名 (24.2%)、他診療科医 1 名 (0.4%)、コメディカル 46 名 (18.9%)、学生他 4 名 (1.6%) と、幅広い職種の方々のご参加をいただき、また、エリア的には北海道・東北ならびに中四国・九州・沖縄の遠方からもご参集いただきました。

今回の学術集会では、一般演題 17 演題がいずれもハイレベルな発表が続き、また、ランチョンセミナー・特別講演・シンポジウムではフロアからの積極的なご参画をいただき、従来にも増して活発なディスカッションがあり、貴重な情報交換の場となりました。プログラムを企画させていただいた主催者として、大変喜ばしいことと存じます。

特別講演をいただいた山梨大学 小林哲郎先生、各セッション・講演・シンポジウムの座長・演者の先生方、そしてご参加いただきました全ての皆様に心より御礼を申し上げます。

本会にご参加された皆様が、今回の学術集会を通じて新しい知識と人事交流を深め、各地域のリーダーとして小児・思春期糖尿病医療の発展に貢献されますことを期待しております。

第 20 回日本小児・思春期糖尿病研究会年次学術集会は、2014 年 7 月 13 日 (日)、岡田朗先生 (福岡・岡田内科クリニック) を会長として大阪で開催される予定です。

新たに発足した日本小児・思春期糖尿病研究会の学会化実現に向け、皆様と一緒に取り組んでまいりたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。